

正東山若王子は永觀堂の北に隣る、天台宗にして修驗道を兼職し、聖護院に属す。本社の熊野三所権現宮は後白河法皇の勧請なり、傍に若一王子を鎮座す。觀音堂は那智山の本地十一面觀世音を安置す、「洛陽觀音巡りの其一なり」南の山下に瀧あり。「那智の瀧をうつすとぞ、当山むかしは宮殿壯麗にして殊に桜花の名所なり、応仁の兵火にかかりてことごく荒廃に及ぶとなん」